

# 働く目的, 生きる目的

理事 ファーマ事業所長 兼 大分事業所長 阪上 重幸



人は人生の大半を仕事に費やすと言っても過言ではありません。ビジネス競争原理の中で、時代と共に(年齢や経験が増す程に)労働密度が増しているように感じます。そんな中において、働く目的、生きる目的を理解しておかないと、特にメンタル面で行き詰まる恐れがあります。ここではそれらについて私の思うところを述べてみたいと思います。

1. 働く目的 まずは身近な所から述べてみましょう。①生活のため、家族のため：人は原則働かないと食べていけないのがこの世、特に家族を養う等生活がかかっている人程、忍耐力や持続力があるようです。幸せは他人との比較では決して得られず、むしろ自分の過去の苦勞時代との比較、真面目に働き続けて少しずつ安定してきた生活などから感じることが出来ます。②職場の仲間のため：チームワークの良い職場は、疲勞感も少なく効率よく働けます。お互いに恩義(助けられた経験)があると、その同僚や上司、部下のために協力(恩返し)して働くことが、むしろ喜びになります。心地よい疲れは良質の睡眠を誘います。③自分のため：書籍「自分のために働け」(高橋裕二 著 講談社)というホンダ式経営の本に、「自分を大切に自分の得意とするものに全力を尽くし、自分の将来の為に一生懸命働け」とあります。また労働について、自発的な意思を持ち、仕事にアイデアや改善を注入して

主体的に働く「朗働」と、その対局に、隷属的に働かされている「卑働」に分類されています。毎日が「卑働」では辛いものがあります。同じ働くのなら、諦める前に仲間を募って、自らの職場の改善、前向き職場に改革すべく立ち上がるべきでしょう。④お客様のため：当社は分析サービス業、お客様の注文あつてのビジネス、お客様からのリピートあつての事業継続です。時間と費用の許す範囲で最大限のサービス提供する心構え、そんな日本人の強みを忘れてはならないと思います。私達はお客様に感謝頂いたときに最もやりがいを感じるものです。お客様とより近い心の位置で仕事を進めることが大切だと思います。⑤会社のため：私達はお客様の前では一人一人が会社の顔です。会社のイメージと信用をあげることが、会社の繁栄、ひいては自分のために還って来ます。会社への不満が多少はあっても、愛社精神を持つことが、自ら前向きに働けることに繋がるでしょう。⑥社会のため：社会に貢献している会社で働くことは必須条件です。コンプライアンス(法令遵守)は、特に人の命に係わる部分で大きな問題となります。食品、医薬品、車両、遊具等、まさに重大なる社会問題となっています。医薬品GMPやGLP等は大変な労力を伴いますが、それが社会のために大きく貢献していることを認識して、心をこめて働きたいものです。⑦仕事のために：仕事とは「事に仕える」と書きます。時として仕事上の問題を解決するために、私心、利害、自尊心(独りよがりの自己評価による高ぶり)等を側に外して臨む必要があります。私心や自己流の考え方を一旦捨

て臨むと、利害も融和し、人の協力も集まります。成果の評価も後からついてきます。

2. 生きる目的 人はなぜ生きる必要があるのか?この問題も押さえておかないと、耐え難い苦勞が襲ってくるたびに、人間をやめたくくなります。人は思考の自由、選択の自由を与えられています。どう信じ、どう生きるかは各人の自由ですが、私なりに得られた結論をここに紹介させていただきます。その第1は、この世の様々な「経験」(善悪を越えて)と、「学び」(苦も楽も)を得て、心のキャパ(包容力)を大きくし、自分の成長感を得ること。自己の成長のために、あえてこの世に「苦勞」が配備されているようです。第2は、各人特有の好きな事やりたい事に思いっきり打ち込んで、生きている幸福感を得るために、登山家が日頃はビル窓清掃業を営む例のように、余暇に趣味に没頭するために、日頃は一生懸命働くというモチベーションもあるでしょう。最後に「学び」という点で付け加えるべき大きな事、それは、気の合う(同質の)人との出会いは「心温まる癒し」ですが、会社でよくある多種多様な人との仕事は「大いなる学び」であります。先述の「朗働」の本に、「組織の強さは異質の才を融合させた水平的広がりの中から芽生える。従って、行き詰った時には“発想の違う人”を入れる事が大切」とあります。

人は人の中であって、社会のため、自分のために大いに仕事し、大いに人に学び、自分を成長させ、好きなことに打ち込んで大いに人生を楽しみ、幸福感を得る事が、人生の大きな目的と思われる。

## 編 集 後 記

SCAS NEWS 2008-II号をお届けいたします。今回は、環境・健康をテーマとして巻頭言に、国立医薬品食品衛生研究所の五十君静信室長に「食品における微生物基準の厳密性はどこまで?」と題して、多々示唆に富む提言を賜りました。また東京工業大学大学院情報理工学研究所の藤井修二教授には「植物による窒素酸化物の除去効果につ

いて」について最近の研究成果の一端をご紹介いただきました。その他、関連テーマの技術報告、SCAS NOW、トピックス、法律ウォッチャー等もご紹介させていただきました。今後も、お客様のご期待に応えられるよう当社の最新分析技術情報を提供してまいりますので、ご愛読のほどよろしくお願い申し上げます。 M.S

編集 発行 株式会社住化分析センター 発行日 2008.8.27 2008-II (通巻28号)  
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-6-17 TEL06-6202-1807 FAX06-6202-0116  
ホームページ <http://www.scas.co.jp> E-mail: [webmaster@scas.co.jp](mailto:webmaster@scas.co.jp)



千葉事業所と愛媛事業所は、ISO/IEC17025に基づく認定事業所で、環境分野や化学、電子工業製品分野などにおける特定項目の認定を受けております。  
千葉事業所の認定番号: JCLA1  
愛媛事業所の認定番号: JCLA5

当社事業所はISO9001およびISO14001の審査登録も受けています。

千葉・筑波事業所: JQA-1105/OIER-171  
大阪・岡山事業所: JQA-1814  
愛媛事業所: JCQA-Q253/JCQA-E-0465  
大分事業所: JQA-QM3707/JQA-EM2093  
ファーマ事業所: 医薬品GLP  
大阪事業所: 農業GLP

はインシュタインの疑問符です。彼のあくなき好奇心と探求心こそが、宇宙真理発見の原動力だったのかも知れません。

**SCAS** Sumika Chemical Analysis Service

東京営業所(本館)	TEL 03-3257-7201	大分営業部・大分事業所	TEL 097-523-1181
東京営業所(別館)	TEL 03-5259-5961	大阪事業所	TEL 06-6466-5247
大阪営業所	TEL 06-6202-1000	筑波事業所	TEL 029-864-4741
名古屋営業所	TEL 052-952-8969	医薬事業本部	TEL 06-6466-5246
医薬事業本部 営業部	TEL 03-5259-5964	技術開発センター	TEL 0438-63-6176
医薬事業本部 営業部(大阪)	TEL 06-6202-1801	医薬事業本部	TEL 06-6466-5251
千葉営業部・千葉事業所	TEL 0438-64-2281	SCAS SINGAPORE PTE LTD.	TEL 65-6899-3819
岡山営業部・岡山事業所	TEL 086-477-8103	住化分析技術(上海)有限公司	TEL 86-21-5677-8181
愛媛営業部・愛媛事業所	TEL 0897-32-3411	SCAS Europe S.A./N.V.	TEL 32-2-255-76-73